

## 草の根レベルでの住民の参加及び備えの強化向上：タイにおける村落ベースの災害警告ボランティア「Mr. Warning」制度の場合

### タイ

#### 1. 背景：

世界の多くの国々と同様、タイにおける自然災害は、急速な都会化、環境の悪化、人口密度の増加のため、その深刻度も頻度も増加傾向にある。自然災害が発生するといつも、大規模な損害や破壊が残る。災害が引き起こす苦難は、その否定的な影響をよそに、防災システムの弱点に光を当て、私たちに既存の弱点を克服するための貴重な教訓を与えてくれた。それはまた、あらゆる関連団体の認識を高め、将来的災害への備えを促す警鐘ともなった。



災害の発生は避けられないが、災害リスク軽減戦略を立てることによりその影響を最小化することは可能だということを学んできた。その結果、タイは伝統的な「対応アプローチ」を、リスク軽減、すべての関係者による認識形成と備えの促進、リスクへのコミュニティの参加の促進など、総合的な防災管理活動を網羅する「総合的災害リスク管理アプローチ」に転換した。

こういった流れから、内務省災害予防軽減局（DDPM）は、リスクにさらされた地域社会住人の意識向上、備えの徹底、総合的防災管理への参加を促進するためのさまざまな訓練コースを開始した。最新のイニシアチブは、地方行政局、地方自治局、気象局、国立公園、野生動植物保護局、国立災害警告センターの協力により DDPM が開始した「コミュニティベースの災害ボランティア訓練コース「Mr. Warning（警告担当者）」」である。

この訓練コースは、特に洪水や土砂崩れの起こりやすい村で、訓練を受けた村民を「Mr. Warning」に指名して災害警告ネットワークを構築することを目的としている。



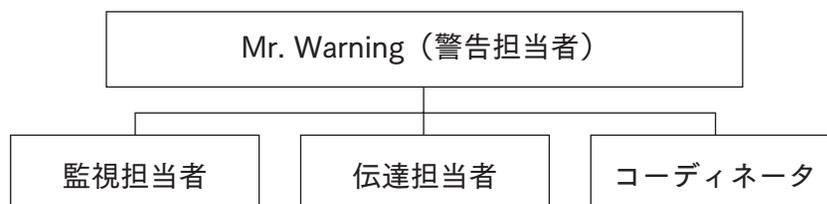
## 2. 「Mr. Warning」の資格

訓練コースの参加に選ばれた村民は、以下の資格を満たすこと

- 年齢：18歳から25歳まで
- 読み書きができること
- マナーがよいこと、自己犠牲の精神をもち、認識能力が高いこと
- 消防ボランティア、コミュニティ開発ボランティア、村落公衆衛生ボランティアは訓練コースを優先的に受講する

## 3. 「Mr. Warning」の役割

以下の役割構造は「Mr. Warning」の果たす役割をわかりやすく示したものである。



訓練コースを終了し指名を受けると、「Mr. Warning」は非緊急時、災害前、災害時、災害後の各段階で「監視担当者」「伝達担当者」「コーディネータ」としての任務を遂行する責任を負う。

- (1) 非緊急段階：この段階では、「Mr. Warning」は以下の役割を果たす
  - (1.1) ラジオの天気予報と警報を聞く
  - (1.2) 村に設置された簡易雨量計で毎日の雨量を確認し記録
  - (1.3) 洪水や地滑り、緊急事態発生時の行動方法について村民を教育する
  - (1.4) 村落当局や村民との連携により、コミュニティ避難計画を立てる
  - (1.5) 村内の自然水路を調査し、遮断物が発見されればすべて当局に報告する
  
- (2) 災害前段階：災害発生前の主な役割は、
  - (2.1) ラジオの天気予報と警報を聞く
  - (2.2) 村に設置された簡単な雨量計で毎日雨量を確認し記録し、その結果を毎日村長に報告する
  - (2.3) 豪雨が何日も続く場合、気象状況を観察し、同時に危険地帯で鉄砲水や地滑りが起こる可能性について入念に観察を続け、村民に警告を出す準備をする
  - (2.4) 災害に備え、すべきことを他の村民に知らせる
  
- (3) 災害時：この段階では、「Mr. Warning」は以下の例のように主に仲介人または調整者としての役割を果たす
  - (3.1) 避難者数、負傷者数、行方不明者数を臨時指示センターに報告する。
  - (3.2) 村長と連携して、避難者を避難センターに連れて行く
  - (3.3) 当局と連携して、必要な救助物資を伝える
  - (3.4) 村長と連携して、当局に災害を伝える
  
- (4) 災害後：この段階では、「Mr. Warning」は以下の活動を行う
  - (4.1) 負傷者を助け医療センターに連れて行く
  - (4.2) 村長、その他の特に医療関係の専門家に協力する
  - (4.3) 関連当局に協力して避難者を家に連れて行く
  - (4.4) 人道支援関連機関にしたがい、協力する
  - (4.5) 村長と地方当局に協力し、村落内の損傷した物理的インフラ、学校、寺などの復興に携わる

#### 4. 成果

DDPM は、2006 年 8 月に設置され、上述の政府機関との協力体制により、全国で（76 県中）51 県の洪水と地滑りが発生しやすい村でこの訓練コースを開始した。合計 6,455 名の「Mr. Warning」が指名され、「各村における村落ベースの災害警告ボランティア」の役割を果たしている。

「Mr. Warning」の成功事例として挙ることのできる最も素晴らしい活動の 1 つは、チェンマイの Phang 地方、村落 6 のタンボン（Tambon、町）Mae Ngon の「Mr. Warning」である Suthep Sae Pan 氏の例である。2006 年の 10 月 8 日、Phang 地方で、継続的豪雨による鉄砲水と土砂崩れの発生が報告された。この水理的災害は村の家屋、インフラを壊滅状態にし、公共事業を中断させ、村民 7 名の死亡が報告された。その間村落 6 では、Suthep Sae Pan 氏が気象状況の入念な観察を続け、簡易雨量計で雨量を確認し続けた。彼はさらに、村の運河の水位が上昇し、水が鉄砲水になる可能性を示す色に変わっていることに気付いた。彼はこの状況を即座に村落管理組織委員会、タンボン長、村長に報告した。Suthep Sae Pan 氏の報告に基づき、当局は村落 6 の約 100 名の村民を高地に非難させることを決定。チェンマイの

Phang 地方、村落 6 のタンボン Mae Ngon の「Mr. Warning」である Suthep Sae Pan 氏は、訓練から得た知識を効率的かつ効果的に実践に移して、村の仲間たちの生命を救ったのである。



簡易雨量計、手動サイレン、「Mr. Warning」訓練コース

#### 5. 結論：

この計画は、一般参加型のアプローチを使用して村民の参加と協力をあおぐことにより、洪水や土砂崩れが発生しやすい村落に対し緊急事態への備えを促す試みである。

内務省の DDPM は、伝統的なトップダウン型災害管理は、地域の資源や能力を見落とすことになり、ときにはコミュニティの脆弱性を高めてしまうものだと認識した。村落 6 の「Mr. Warning」である Suthep Sae Pan 氏の成功例は村民関与の利点を示す新たな証拠である。

#### 6. 連絡先

Suporn Ratananakin 氏

国際調査協力局ディレクター

災害予防軽減局

3/12 U-Thong Nok Road

Dusit, Bangkok

Thailand 10300

電話番号：66 2 243 3518

ファックス番号：66 2 243 5279

E メールアドレス：rsuporn@yahoo.com, foreign\_dpm@yahoo.com